



平成 30 年 2 月 9 日

中部地方整備局

## 堀川（五条橋地区）の100mm/h 安心プランの登録証伝達式を行います

名古屋市から申請された「水防災意識社会再構築ビジョンに基づく名古屋都心域豪雨対策推進プラン」が1月31日に「100mm/h 安心プラン」に登録されました。

2月13日に名古屋市役所において国土交通省中部地方整備局長から名古屋市長への「100mm/h 安心プラン」登録証伝達式を開催します。

### 1. 伝達式

- (1) 日 時 平成30年2月13日(火) 午後4時30分から
- (2) 場 所 市役所本庁舎2階 第1会議室(中区三の丸三丁目1番1号)
- (3) 参加者 国土交通省中部地方整備局 塚原浩一局長  
名古屋市 河村たかし市長 はじめ5名
- (4) 内 容 「100mm/h 安心プラン」登録証の伝達

### 2. 今回登録された計画の概要 <別紙1>

- (1) 計画名称 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく名古屋都心域豪雨対策推進プラン
- (2) 対象地域 堀川上流域および名古屋駅周辺
- (3) 主な取組 ・河川事業として堀川五条橋地区の河川整備  
・緊急雨水整備事業として進めている雨水貯留施設の整備や雨水ポンプ所の新設及び雨水ポンプの増強
- (4) 実施効果 堀川上流域の浸水の低減および名古屋駅周辺の地下空間への浸水を解消

### 3. 制度の概要 <別紙2>

100mm/h 安心プランは、いわゆる「ゲリラ豪雨」に対し、河川管理者及び下水道管理者による河川と下水道の整備に加え、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画です。策定主体は市町村および河川管理者、下水道管理者等とし、水管理・国土保全局長において登録を行い、登録された事業については、交付金の重点配分等の支援を受けられます。

### 4. その他

伝達式冒頭より撮影等可能

### 5. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

<問い合わせ先>

国土交通省中部地方整備局

河川部 地域河川課 課長補佐 かしの まこと 榎野 誠

TEL (052)953-8257 (直通) FAX (052)953-8312

建政部 都市整備課 課長補佐 くろだ ひでのぶ 黒田 英伸

TEL (052)953-8573 (直通) FAX (052)953-8605

参考：名古屋市においても同様発表をしています。

名古屋市HP：<http://www.city.nagoya.jp/ryokuseidoboku/page/0000102227.html>

[計画名称] 水防災意識社会再構築ビジョンに基づく名古屋都心域豪雨対策推進プラン  
【愛知県名古屋市】

流域の概要

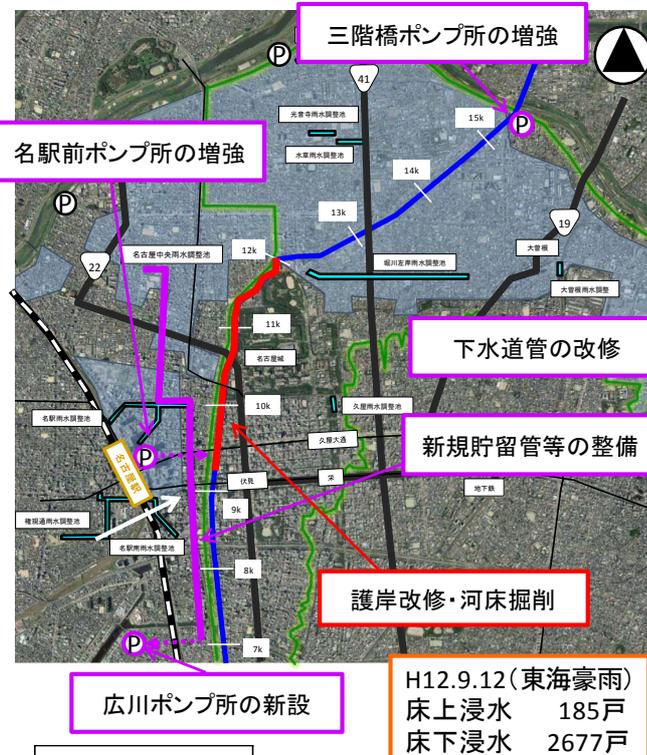
- 堀川流域および名古屋駅周辺では、過去から多く浸水被害に見舞われ、平成12年9月の東海豪雨では、床上185戸、床下2677戸の浸水被害が発生
- 近年、局所的豪雨が顕在化し、甚大な水害が多発  
愛知県における時間雨量50mm以上の発生回数は、
  - ・S52～H 8の20年間での発生回数は5回
  - ・H 9～H28の20年間での発生回数は11回 → **2.2倍**
 (観測地点: 名古屋地方気象台)
- 名古屋駅周辺ではリニア中央新幹線開業を見据え都市機能が集積(地下空間も拡大)  
⇒ **頻発する局所的豪雨に対して早急な治水対策が必要**

【浸水被害の主な要因】

- 頻発する集中豪雨により、浸水に対する危険度が増大
- 下流から河川改修を進めているが、全川が完了するまでは時間を要するため、中上流部で排水が困難
- 名古屋駅周辺は標高が低く雨水が集まりやすい  
⇒ **広域的な治水対策を関係機関が一体となり効果的に組合せ推進する必要がある**

名古屋市内の流出抑制を推進するため、関係部局からなる「**名古屋市雨水流出抑制推進会議**」を設置し、関係機関が対策を実施

浸水被害の概要



取組内容

- 河川・下水道
  - ・河川改修
  - ・雨水貯留施設の整備、雨水ポンプ所の新設・増強、下水道管の改修
- 流域対策
  - ・特定都市再生緊急整備地域内における雨水流出抑制施設設置の推進
  - ・公共施設、開発事業者による雨水流出抑制施設の整備
  - ・道路、公園等における透水性舗装及び浸透雨水柵の設置
- 危険情報周知、水防活動
  - ・雨量、河川水位、道路、河川のカメラ画像等の提供
  - ・ハザードマップ(内水・外水)全戸配布
  - ・名古屋駅地下街を対象にした水位周知下水道の指定
  - ・名古屋市防災アプリによる現在位置の想定浸水深・避難所を可視化
  - ・各区で市民と行政が一体となった「総合水防訓練」等の実施

河川改修



貯留施設の整備



スマホアプリによる情報



取組効果

関係機関が対策を実施することにより、対象降雨に対する堀川上流域の浸水を低減するとともに、名古屋駅周辺の地下空間への浸水を解消する。

# 100mm/h安心プランの概要

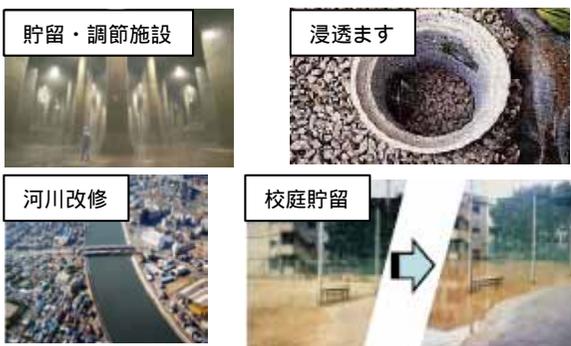
- ▶ 従来の計画降雨を超える、いわゆる「ゲリラ豪雨」に対し、住民が安心して暮らせるよう、関係分野の行政機関が役割分担し、住民(団体)や民間企業等の参画のもと、住宅地や市街地の浸水被害の軽減を図るために実施する取組を定めた計画を「100mm/h安心プラン」とする。
- ▶ 策定主体は市町村および河川管理者、下水道管理者等とし、水管理・国土保全局長において登録を行う。
- ▶ 登録した地域について、流域貯留浸透事業の交付要件を緩和することにより、計画的な流域治水対策の推進を図る。

## 対象地域

河川事業および下水道事業が実施されている**住宅地や市街地の浸水被害を軽減**を図る地域

## 計画策定主体

市町村および河川管理者、下水道管理者(必須)  
住民(団体)や民間企業等(任意)



## 期待される効果

河川や下水道等の連携により一層の効果的な整備が可能  
 登録、公表等により一層の整備推進等が見込まれる  
 住民等の参加により、地域の防災への意識が高まる

